

第3学年国語科学習指導案

日時 平成16年7月7日(水)5校時
児童 男子13名 女子4名 計17名
授業者 佐々木 慎一

1 単元名 集まれ、世界のお話(光村図書3年上)

2 教材名 「三年とうげ」「本のさがし方」「本のおびを作ろう」

3 単元について

(1) 単元について

本単元は、第一次、第二次では教材文「三年とうげ」を読み取る学習からおもしろいと思ったところを本の帯に書く活動へと進んでいく。第三次、第四次では自分の読みたい外国の本を選んで読み、第一次、第二次の活動を生かして本の帯を作る。「読むこと」と「書くこと」を繰り返す、複合単元である。教材文の「三年とうげ」は導入単元の「きつつきの商売」の次に位置する文学的文章の「読むこと」の教材であり、前学年の「スイミー」や「三まいのおふだ」「スーホの白い馬」からつながる教材である。また、第三次では外国の読み物へと視野を広げるとともに、図書室の利用方法も学習する。「書くこと」の学習である本の帯作りも、前学年の「本しょうかいメモ」からの発展である。

(2) 児童について

「きつつきの商売」の学習では「『おとや』日記」を書いたり、紹介しあったりする活動をとおして物語を疑似体験する活動をしてきた。前学年でも読み聞かせをじっくりと聞いて楽しむ、教材文の劇化、挿絵を楽しむ等の活動を行ってきており、本に抵抗なく親しむことができる子どもたちである。朝読書の様子を見ても、時間いっぱい静かに読んでいたり、おもしろかった本を話題にし合ったりする姿も見られる。しかし、書かれている文章を正確に読むことや文章に書かれている内容を読み取る力には個人差が大きく、自分の力でお話の世界に入っていけない児童も少なくない。そのため、本は手に取るものの、挿絵や部分的な言葉のおもしろさを味わう段階からお話の展開の楽しさを味わう段階へと進んでいけない児童も見られる。

(3) 指導にあたって

第一次ではまず、今までの外国のお話を読んだ体験を振り返る。意識はしていなくても外国のお話を楽しんでいたことに気づかせ、「三年とうげ」への興味をもたせるとともに、第三次の外国のお話を読む活動への興味をもたせたい。第二次ではテンポのよさやトルトリの知恵のおもしろさ等「三年とうげ」の学習で感じた作品のおもしろさを、本の帯をとおして伝える活動である。作品に対する自分なりの思いを大切にするとともに、内容やレイアウトなど、相手を意識した効果的な方法を考えさせる。できあがった帯を紹介し合う中で、効果的な方法についての視野を広げさせ、第四次へとつなげる。第三次では、第四次の活動を意識させ、感じた作品のおもしろさを付箋を使って蓄積しておく。また、新しい本を選んだり、本を返却したりしながら図書館の本の置き方に決まりがあることを理解させる。そして第四次では第二次の活動を生かして本の帯を作るようにする。

外国のお話という新しい視点での学習をとおし、いろいろな読み物へと視野を広げるきっかけにしたい。

4 単元の目標

いろいろな地域や国のお話に興味をもち、学校図書館で本を探して読む。
友達と感想を話し合い、物語のおもしろさに気づく。
友達を読みたくなるように工夫して本の帯を作る。

5 単元の指導計画（学習指導計画 17 時間）

	学 習 活 動	関心・意欲・態度	話すこと・聴くこと	書くこと	読むこと	言語事項
第一 次	今までに読んだ外国のお話を想起し、世界中にたくさんのお話があることを知る。					
	「三年とうげ」の大まかなあら筋をつかみ、学習の見直しを持つ。					
	「三年とうげ」を読み、おもしろかったところとそのわけをまとめて、発表する。					
	叙述に沿っておじいさんの様子やトルトリの知恵について詳しく読む。					
	言い伝えの歌と木のかげから聞こえてきた歌の違いを考える。					
	一番おもしろいところを選び、わけを短い文で書く。					
第二 次	本の帯について知り、「三年とうげ」の本の帯を作る。					
	本の帯を清書し、グループで見合っ、自分の友達の作品のよいところを見つける。					
第三 次	いろいろな国や地域のお話があることを知り、それらの中から読みたい本を探して読む。 《本時 1 / 2》					
	学校図書館の中での、読みたい本の探し方を理解する。					
第四 次	読んだ中から帯を作る本を選び、本の帯構成カードを書いたり下書きをしたりする。					
	下書きをもとに清書する。					
	作品を紹介し、感想を発表する。					

は主目標。

6 本時の指導

(1) 目標

いろいろな外国のお話の中から自分が読みたい本をさがして読む。

(2) 本時の評価

・評価規準

いろいろな地域や国のお話に興味を持ち、読む。

具体的評価規準	A の状況の具体的姿	C の状況への手だて
外国の読み物の中から読みたい本をさがして読むことができる。	外国の読み物の中から読みたい本をさがして楽しむことができる。 ・読書記録に楽しさが具体的に記されている。 ・楽しかった箇所を表す付箋が多数張られている。 ・楽しかった本の紹介をする。	挿絵や言葉のおもしろさ等今までの学習で気づいてきたおもしろさ、友達がつけた付箋等をもとに、教師と一緒に本を探す。

(3) 展開

過程	学習活動	教師の働きかけと ・予想される児童の反応	支援上の留意点 評価
導入 5分	1 外国のお話である「3年とうげ」について振り返る。 2 外国のお話の紹介を聞く。 3 課題を把握する。	「3年とうげ」は日本のお話でしたか。 ・朝鮮半島 ・服が違う これはどこのお話だと思いますか。 ・アメリカ	「3年とうげ」の学習で、外国のお話もおもしろいと感じたことを想起させる。 挿絵等をもとに、外国のお話であることに気づかせるとともに、国の名前を紹介し、世界地図で確認する。
外国のお話を楽しもう			
展開 33分	4 読書する際に覚えておくことを確認する。 5 外国のお話を、読む。	次のことを覚えておいてください。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・本の帯を作る。 ・読み終わったら読書記録を書く。 ・楽しかったところに付箋紙を貼る ・本は元の場所に返す。 </div> では、読んでみてください。	本の帯を作る見通しをもたせるが、じっくり読書させるように強調しすぎないようにする。 図書館利用の仕方発展するように、本は国名などの決まりをもとに整理して配置していることを知らせ、元の場所に返すようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 外国の読み物の中から読みたい本をさがして読むことができたか。(観察、読書記録、感想発表) </div>
まとめ 7分	6 読んだ本を紹介する。 7 本時を振り返る。 8 次の時の予告を、聞く。	読んだ本の紹介と感想を発表してください。 今日の学習を振り返ってみましょう。 次の時間も、本を読んでみましょう。	途中までの場合でも、読んだところまでのおもしろさや感想でもよいことにし、気軽に紹介し合えるよう配慮する。 あった場所に戻すことができたかどうかについても振り返らせる。 楽しさを感じなかった児童には次時にも本を選びなおせることを知らせ、読書についての興味を維持させるようにする。